

インストールマニュアル
**LG デジタル
サイネージ**
(サイネージモニター)

このたびは LG サイネージモニター製品をお買い求め頂きまして、
誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

webOS 3.0

目次

インストールメニューを開く.....4

インストールメニュー5

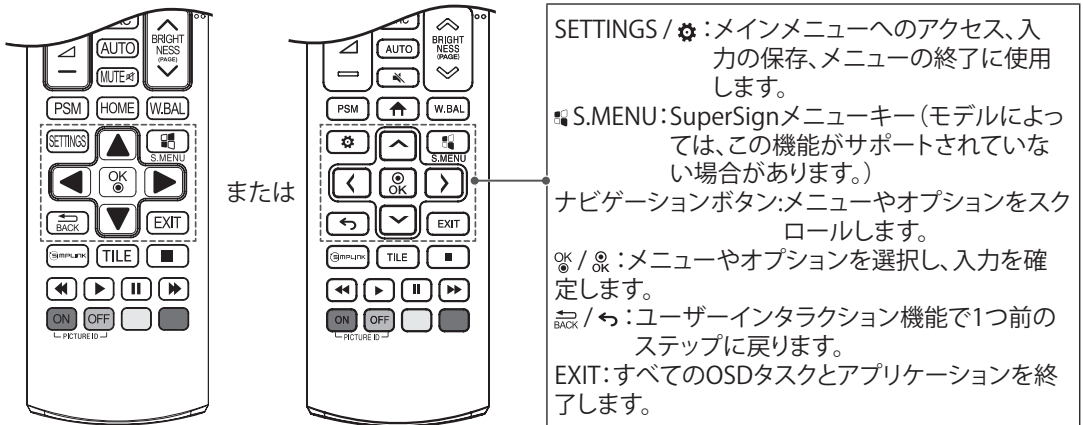
- Signage Setup (サインエージセットアップ)5
 - Power On Status (電源オンステータス)
 - Wake On LAN (LANで起動)
 - LAN Daisy Chain (LANデージーチェーン)
 - Power Off Management (電源オフ管理)
 - Rotation (回転)
 - Beacon (ビーコン)
 - Baudrate (9600/115200) (ボーレート (9,600/115,200))
 - Power On Delay (0~250) (パワーオン遅延 (0~250))
 - Check Screen (画面の確認)
 - Digital Audio Input (デジタルオーディオ入力)
 - Speaker (スピーカー)
 - USB Auto Playback (USB自動再生)
 - Interface Selection (インタフェースの選択)
 - OPS Power Control (OPS電力制御)
 - Multi Display Mode (マルチディスプレイモード)
 - Power Indicator (電源インジケータ)
 - Sync Mode (同期モード)
 - Intelligent Auto (インテリジェントオート)
 - Studio Mode (スタジオモード)
 - HDMI IT Contents (HDMI ITコンテンツ)

- White Balance (ホワイトバランス)
- Application (アプリケーション)
- Web Browser (Webブラウザ)
- Status Message (ステータスメッセージ)
- SIMPLINK Setup (SIMPLINK設定)
- Local Dimming (局所輝度制御)
- Holiday Schedule (休日のスケジュール)
- Easy Brightness Control (かんたん明るさコントロール)
- アナログSignage BLU設定
- Crestron (クレストロン)
- Enterprise Settings (エンタープライズ設定)
- No Signal Image (ノーシグナルイメージ)
- Signage 365 Care (サインエージ365ケア)
- Quiet mode (Fan OFF) (静寂モード (ファンオフ))
- Factory Reset (工場出荷状態へリセット)
- USB Cloning (USBクローニング) 21
- Send to USB (USBにエクスポート)
- Receive from USB (USBからインポート)
- Logo Image Download (ロゴイメージのダウンロード)
- Password Change (パスワード変更) 21

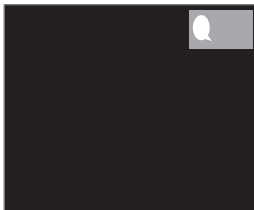
- Fail Over (フェイルオーバー)	22	- Server (サーバー)	27
Off (オフ)		Set Automatically (自動設定)	
Auto (自動)		Server IP Type (サーバーのIPタイプ)	
Manual (マニュアル)		Server IP (サーバーIP)	
- ISM Method (ISM モード)	23	Server Status (サーバーのステータス)	
Mode (モード)		Port Number (ポート番号)	
Repeat (繰り返し)		Secured Connection (保護された接続)	
Wait (待機時間)		Control Server IP Type (制御サーバーのIPタイプ)	
Duration (再生時間)		Control Server IP (制御サーバーのIP)	
Repeat Day (繰り返し日)		Control Server Port (制御サーバーのポート)	
Start Time (開始時刻)		Control Server Status (制御サーバーの状態)	
End Time (終了時刻)		- Lock Mode (ロックモード)	28
Action Cycle (アクションサイクル)		USB	
Bar Image (バーの画像)		OSD	
Bar Color (バーの色)		Wi-Fi	
Transparency (透明度)		Reset to Initial Settings (初期設定にリセット)	
Direction (方向)		IR Operation (IRの操作)	
Bar Image Download (バーの画像をダウンロード)		Local Key Operation (ローカルキーの操作)	
User Image Download (ユーザー画像のダウンロード)			
User Video Download (ユーザー動画のダウンロード)			
*ダウンロードされたバーの画像/ユーザー画像/ユーザー動画のリセットまたは削除方法			

インストールメニューを開く

- 1 SETTINGS ボタンを 5 秒間押し続けます。



- 2 トースト画面 (選択されている入力信号名表示) が表示されたら、トースト画面が表示されている間に [0] [0] [0] [0] (0 を 4 回) 押した後 [OK] ボタンを押します。
- 入力が終わる前にトースト画面が消えてしまったら最初からやり直して下さい。
 - 0000 はパスワードの初期値です。パスワードを変更した際には変更したパスワード (4桁数字) に置き換えて入力して下さい。



- 3 [Installation Menu (インストールメニュー)] が表示されたら、目的のオプションを選択します。

- Signage Setup (サイネージセットアップ)
- USB Cloning (USB クローニング)
- Password Change (パスワード変更)
- Fail Over (フェイルオーバー)
- ISM Method (ISM モード)
- Server (サーバー)
- Lock Mode (ロックモード)

✔ ヒント

- マニュアル内の図と実際の製品は異なることがあります。

インストールメニュー

✔ ヒント

- モデルによっては、設置マニュアルに記載されている機能をサポートしていない場合があります。

Signage Setup (サイネージセットアップ)

このメニューは、インストール後のデジタルサイネージの設定に使用します。

Power On Status (電源オンステータス)

- 主電源をオンにするときの、モニターの動作ステータスを選択できます。
- [PWR]、[STD]、[LST]の中から選択できます。
- [PWR]を選択すると、主電源をオンにするときのモニターのステータスは常にオンになります。
- [STD]を選択すると、主電源をオンにするときのモニターのステータスはスタンバイになります。
- [LST]を選択すると、モニターのステータスは前回と同じステータスになります。

Wake On LAN (LAN で起動)

- [Wake On LAN (LAN で起動)]機能のオン/オフを設定できます。
- この機能は、有線/無線ネットワークごとに[On (オン)]または[Off (オフ)]に設定できます。
- [Wired (有線)]: [On (オン)]に設定すると、[Wake On LAN (LAN で起動)]機能が有効になり、離れたところから有線ネットワーク経由で製品の電源を入れられるようになります。
- [Wireless (無線)]: [On (オン)]に設定すると、[Wake On LAN (LAN で起動)]機能が有効になり、離れたところから無線ネットワーク経由で製品の電源を入れられるようになります。

LAN Daisy Chain (LAN デイジーチェーン)

- LAN デイジーチェーンでは、LAN ポートを使用してデイジーチェーンを構築します。こうすることで、モニターセットを1つネットワークに接続するだけで、デイジーチェーン内の他のモニターセットもネットワークに接続されます。
- 最初のデイジーチェーン内のセットは、デイジーチェーンで使用されていないポートを使用してネットワークに接続する必要があります。

Power Off Management (電源オフ管理)

- No Signal Power Off (15 Min) (信号がないと電源オフ (15 分後))
 - 15 分後強制オフ機能のオン/オフを選択できます。
 - [On (オン)] または [Off (オフ)] に設定できます。
 - 設定を [On (オン)] にすると、接続機器からの信号がない状態が 15 分間続くと、電源がオフになります。
 - 設定を [Off (オフ)] にすると、15 分後強制オフ機能は無効になります。
 - 製品を長時間使用する場合は、このオプションを [Off (オフ)] に設定してください。
- Auto Power Off (自動電源オフ)
 - 4 時間後オフ機能のオン/オフを選択できます。
 - [4 Hours(4 時間)] または [Off (オフ)] に設定できます。
 - 設定を [4 Hours(4 時間)] にすると、4 時間リモコンや、本体のボタンを操作しなかったときに、電源がオフになります。
 - 設定を [Off (オフ)] にすると、4 時間後オフ機能は無効になります。
 - 長時間、映像を表示する場合は、設定を [Off (オフ)] にしてください。
- DPM
 - DPM (ディスプレイ電源管理) 機能を設定できます。
 - Off (オフ) : [Off (オフ)]、[5 sec. (5 秒後)]、[10 sec. (10 秒後)]、[15 sec. (15 秒後)]、[1 min. (1 分後)]、[3 min. (3 分後)]、[5 min. (5 分後)]、または [10 min. (10 分後)] に設定できます。(設定は、モデルによって異なります)
 - [Off (オフ)] 以外が設定されている場合、入力信号がないとモニターセットは DPM モードに入ります。
 - 設定を [Off (オフ)] にすると、DPM 機能は無効になります。
 - 以下の場合、DPM の 5 sec. (5 秒後) と 10 sec. (10 秒後) のオプションは無効になります。DPM がすでに 5 sec. (5 秒後) 、または 10 sec. (10 秒後) に設定されている場合は、15 sec. (15 秒後) に変更されます。
 1. [USB Auto Playback (USB 自動再生)] が [Photo (写真)] または [Movie (動画)] に設定されている場合 (OLED モデルは [Movie (動画)] オプションのみをサポートしています) 。
 2. [Fail Over (フェイルオーバー)] が [Auto (自動)] または [Manual (手動)] に設定されている場合
 - 10 sec. (10 秒後) 以下に設定すると、モニターが DPM モードに移動した後、SuperSign コンテンツが自動再生されます。
- DPM Wake up Control (DPM ウェイクアップ制御)
 - 接続された DVI-D/HDMI ポートのデジタル信号処理に従って、モニターセットをオンにします。
 - このオプションを [Clock (クロック)] に設定すると、デジタルクロックからの信号のみが確認されます。クロック信号がある場合、モニターセットがオンになります。
 - このオプションを [Clock+DATA (クロック + データ)] に設定すると、デジタルクロック信号とデータ信号の両方が入力されている場合のみ、モニターセットがオンになります。

- PM Mode (PM モード)
 - [Power Off (電源オフ)] : 通常の DC オフの状態。
 - [Sustain Aspect Ratio (画面サイズを保持)] : 通常の DC オフで、切り替え IC のみオンの状態。モデルによっては、特定の入力モード (DisplayPort) のみ該当し、他の入力モードでは [常に映像オフ] と同じ効果があります。
 - [Screen Off (映像オフ)] : DPM モード、オートオフ (15 分、4 時間)、異常シャットダウンの場合は、自動的に画面オフの状態になります。
 - [Screen Off Always (常に映像オフ)] : DPM モード、オートオフ (15 分、4 時間)、オフタイマー、異常シャットダウン、またはリモートコントロールの電源ボタンかモニターオフボタンの入力があった場合は、自動的に画面オフの状態になります。
 - 画面をオフからオンに変更するには、リモートコントロールの電源ボタンか入力ボタン、またはモニターオンボタンからの入力が必要です。
 - [Screen Off & Backlight (Outdoor Mode) (映像オフとバックライト (屋外モード))] : この機能を使用すると、氷点下の温度でも通常どおり筐体が機能します。

ヒント

- 屋外に設置する場合は、[映像オフとバックライト (屋外モード)] に設定します。
- 屋外モードを設定すると、本製品内の湿気や結露を抑えることができます。
- 氷点下で動作させる場合は、筐体内の温度が上昇するまで、最大で 1 時間程度起動しない場合があります。
- 一部のメディア入力デバイスの互換性を維持するために、[画面サイズを保持] を設定してください。

Rotation (回転)

- OSD Portrait Mode (OSD ポートレートモード)
 - この機能では、OSD を時計回りに回転できます。
 - この機能は、[Off (オフ)]、[90]、[180]、または [270] に設定できます。(一部のモデルは特定の設定のみサポートされます)
 - [Off (オフ)] に設定すると、この機能は無効になります。
 - [90] に設定すると、OSD は時計回りに 90 度回転します。この場合、マウスは使用できません。
 - [180] に設定すると、OSD は時計回りに 180 度回転します。この場合、マウスは使用できません。
 - [270] に設定すると、OSD は時計回りに 270 度回転します。この場合、マウスは使用できません。
 - モデルによっては、この機能を [Off (オフ)]/[On (オン)] にできるものもあります。[On (オン)] にすると、OSD は時計回りに 90 度回転します。
 - [OSD Portrait (OSD ポートレート)] 使用中に、Web ブラウザーは無効になります。
- Aspect Ratio (Rotation) (画面サイズ (回転))
 - コンテンツの回転時に適用する画面サイズのオプションを選択します。(オリジナル/フル)
- Content Rotation (コンテンツの回転)
 - 画像を時計回りに 90 度、180 度、または 270 度回転させます。
 - オフに設定されている場合、操作は無効になります。
 - ポートレートモード用に作成されたコンテンツの使用をお勧めします。
 - ARC の場合、[コンテンツの回転] を [On (オン)] (90 度または 270 度) に設定すると、動画のサイズがフルスクリーンになります。
 - [コンテンツの回転] を使用したい場合は、WiDi で [アスペクト比] を [オリジナル] に設定することをお勧めします。[アスペクト比] を [フル] にすると、マウスポインターの表示位置が不正確になる場合があります。
 - 外部入力を使用して [コンテンツの回転] を設定した際の画質の低下は製品に起因するものではありません。接続デバイスの設定を確認してください。
 - [Content Rotation (コンテンツの回転)] をオンに設定すると、マルチ画面 PIP モードが無効になります。
 - [コンテンツの回転] が [オン] (90 度または 270 度) に設定されている場合、一部のウィジェットと SWF ファイルが正しく表示されないことがあります。
 - タッチをサポートするモデルで [外部入力の回転] を有効にすると、タッチが正常に動作しない場合があります。

Beacon (ビーコン)

- Bluetooth バージョン 4.0 の機能の 1 つである BLE ビーコンを有効にします。
- [Beacon Mode (ビーコンモード)] (オン/オフ切替) : ビーコン機能を有効にします。
- [LG Beacon (LG ビーコン)]/[iBeacon]/Eddystone タイプのビーコン機能がサポートされています。
- [LG Beacon (LG ビーコン)]/[iBeacon]
 - Beacon UUID (hex) (ビーコン UUID (16 進)) : UUID を設定します。
 1. Field1 : 4 バイト 16 進値 (8 桁)
 2. Field2 : 2 バイト 16 進値 (4 桁)
 3. Field3 : 2 バイト 16 進値 (4 桁)
 4. Field4 : 2 バイト 16 進値 (4 桁)
 5. Field5 : 6 バイト 16 進値 (12 桁)
 - Major (0-65535) (メジャー (0-65535)) : メジャー値を設定します。
 - Minor (0-65535) (マイナー (0-65535)) : マイナー値を設定します。
- Eddystone
 - フレーム : UUID または URL を設定します。
 1. Beacon UUID (hex) (ビーコン UUID (16 進)) : UUID を設定します。
 - (1) Field1 : 10 バイト 16 進値 (20 桁)
 - (2) Field2 : 6 バイト 16 進値 (12 桁)
 2. URL の設定
 - URL Prefix (URL プレフィックス) : URL のプレフィックスを設定します。
 - URL Suffix (URL サフィックス) : URL のサフィックスを設定します。
 - URL : URL のプレフィックスとサフィックスを除いた部分を入力します。
 - URL 文字列の上限は 17 文字です。
- OK : 入力した設定を適用するための確認ボタンです。
- モデルによっては、iOS でバックグラウンドスキャンサービスをサポートしていないものもあります。
- 設定が正しく適用されるように、再起動することをお勧めします。
- UUID の値は 16 進数で、正確な桁数で入力する必要があります。

Baudrate (9600/115200) (ボーレート (9,600/115,200))

- RS-232 の通信速度を変更して、モニターを制御できます。
- [9600] または [115200] を選択できます。
- 設定を [9600] にすると、RS-232 の通信速度は 9,600 bps に設定されます。
- 設定を [115200] にすると、RS-232 の通信速度は 115,200 bps に設定されます。

Power On Delay (0 ~ 250) (パワーオン遅延 (0 ~ 250))

- この機能は、複数のモニターセットの電源が同時にオンになるときの過負荷状態を防ぐために、電源をオンにするタイミングを遅らせます。
- 遅延の間隔を 0 秒 ~ 250 秒の範囲で設定できます。

Check Screen (画面の確認)

- [Check Screen (画面の確認)] 機能は、画面の端に異常がないかどうかを判断します。1 秒間隔で画面に R、G、B OSD を表示し、ピクセルセンサーがそのエリアをテストします。
- [On (オン)] に設定すると、[Check Screen (画面の確認)] 機能は有効になります。
- [Off (オフ)] に設定すると、[Check Screen (画面の確認)] 機能は無効になります。
- [OSD Portrait Mode (OSD ポートレートモード)] が適用されているときは、[Check Screen (画面の確認)] は [off (オフ)] に切り替わり無効になります。
- エンクロージャーモデルでは、[OSD Portrait (OSD ポートレート)] の設定内容にかかわらず、この機能は有効です。

Digital Audio Input (デジタルオーディオ入力)

- HDMI/DisplayPort/OPS : HDMI、DisplayPort、OPS に伝送されるデジタル信号の音声データは、モニターのスピーカーから出力することが出来ます。
- Audio In (オーディオ入力) : HDMI ポート、または OPS ポートまたは DisplayPort ポートをオーディオ入力ポートに接続して、モニタースピーカーから音声を出力することができます。
- OPS/HDMI3/DVI-D または OPS/DVI-D 接続の映像を出力しているときに、[デジタル] が選択されている場合、音声は出力されません。

Speaker (スピーカー)

- 設定を [On(オン)] にすると、モニターのスピーカーがオンになり音声出力が可能になります。
(* スピーカーは別売です)。
- 設定を [Off(オフ)] にすると、モニターのスピーカーがオフになります。

USB Auto Playback (USB 自動再生)

- USB デバイスが接続されると写真やビデオを自動再生する機能です。[View Photos/Movies (写真 / ムービーの表示)] メニューを手動で選択しなくても、写真やビデオが自動的に再生されます。ただし、この機能は SuperSign のコンテンツ再生中は使用できません。
- [Movie (ムービー)] に [USB Auto Playback (USB 自動再生)] を選択すると、USB デバイスの最上位のフォルダにあるビデオファイルが自動的に順番に再生されます。電源をオンにすると、USB のビデオファイルを自動的に検索して再生します。
- [Photo (写真)] に [USB Auto Playback (USB 自動再生)] を選択すると、USB デバイスの最上位フォルダにあるビデオファイルが自動的に順番に再生されます。電源をオンにすると、USB の写真を自動的に検索して再生します。(OLED モデルではこの機能を使用できません)

Interface Selection (インタフェースの選択)

- 接続している OPS で通信を設定できます。
- DISPLAY (ディスプレイ) : シリアルポートを使用して外部デバイスでの通信を有効にします。
- OPS : 製品に接続している OPS を使用して通信を有効にします。
- OPS キットが接続されている場合のみ、インタフェースの選択が可能です。

OPS Power Control (OPS 電力制御)

- OPS の電源を制御できます。
- Disable (無効) : OPS Power Control (OPS 電力制御) を無効にします。
- Sync (on) (同期 (オン)) : モニターがオンの場合にのみモニターと OPS の電源ステータスを同期します。
- Sync (on/off) (同期 (オン/オフ)) : 常にモニターと OPS の電源ステータスを同期します。
- OPS 電力制御機能をオンにする場合は、PM モードの [画面サイズの維持] をオフに設定する必要があります。

Multi Display Mode (マルチディスプレイモード)

- マルチディスプレイ機能は DisplayPort 入力から入力された映像信号を DisplayPort 出力を通じて、シングルモード (SST: Single Stream Transport) またはマルチモード (MST: Multi Stream Transport) で表示させます。
- オンに設定すると、各モニターの映像をマルチモードで表示させます。
- オフに設定すると、各モニターの映像が単一モードで表示されます。
- マルチモードは、DisplayPort 1.2 対応の PC で使用できます。
- マルチモードでは、4 台までのモニターに接続できます (推奨解像度の場合)。
- この機能は、グラフィックカードによってはモニターが正常に動作しないことがあります。機能を使用しない場合には、[オフ] に設定してから PC を再起動してください。
- DisplayPort デイジーチェーンに DVI/HDMI 入力を使用する場合は、マルチディスプレイモード機能をオフにしてください。

Power Indicator (電源インジケータ)

- [Power Indicator (電源インジケータ)] のオン、オフを設定できます。
- [On (オン)] に設定すると、[Power Indicator (電源インジケータ)] がオンになります。
- [Off (オフ)] に設定すると、[Power Indicator (電源インジケータ)] がオフになります。
- 製品が起動している間は、[On (オン)] または [Off (オフ)] どちらに設定されていても、[Power Indicator (電源インジケータ)] が約 15 秒間点灯します。

Sync Mode (同期モード)

- この製品の時刻、輝度、コンテンツを別な製品の時刻、輝度、コンテンツに同期させます。
- Off (オフ) : 同期は無効になります。
- RS-232C : RS-232C 経由で接続した複数のモニターを同期します。
 - Master/Slave (マスター/スレーブ) : これらのモニターは [Master (マスター)]、[Slave (スレーブ)] のいずれかに設定できます。この機能が正常に動作するよう、いずれか1つのモニターを [Master (マスター)] モードに設定する必要があります。
 - Time Sync (時刻の同期) : [Time Sync (時刻の同期)] が [On (オン)] に設定されているときは、RS-232C 経由で接続された複数の Slave (スレーブ) モニターに、Master (マスター) モニターの現在の時刻を送信して時間を同期させます。[Time Sync (時刻の同期)] が [On (オン)] に設定すると、モニターの時刻は初回同期後 1 時間ごとに同期されます (設定を変更した場合は、改めて初回同期が実行され、その後 1 時間ごとの同期が続行されます)。
 - Contents Sync (コンテンツの同期) : [Contents Sync (コンテンツの同期)] が [On (オン)] に設定されているときは、Master (マスター) モニターの Contents (コンテンツ) を、RS-232C 経由で接続された複数の Slave (スレーブ) モニターに送信して Contents (コンテンツ) を同期させます。この機能はモニターの [Contents Sync (コンテンツの同期)] が [On (オン)] に設定されている場合にのみ使用可能で、Contents (コンテンツ) 内の単一の動画または画像とともに正常に動作します。
 - バックライトの同期: この機能は、モニターの輝度をマスターモニターの輝度と一致するように変更します。マスターモニター、スレーブモニターはそれぞれ次のように設定する必要があります。
 - 省エネ: 自動
 - バックライトの同期: オン
 輝度の同期間隔は 1 分ですが、周囲の明るさのわずかな変化で間隔は 10 分に変更されます。
- Network (ネットワーク) : 同一ネットワークに接続されているモニターを同期します。
[SYNC NOW] ボタン権限のあるモニターが Master (マスター) になります。
 - How many connected screens (接続画面数) : Slaves (スレーブ) の数を入力します。1 ~ 225 の数を入力でき、デフォルト値は 1 です。
 - Select storage device (記憶装置の選択) : Internal Memory (内蔵メモリー) または USB デバイスが選択できます。
 - Select the file name (ファイル名の選択) : 選択したデバイスのファイルリストから最大 10 ファイルを選択できます。ファイルを選択すると上部にある [SYNC NOW] ボタンが有効になり、次のステップへ進めます。
 - サポートされているのは MP4 ファイルのみで、ファイルはすべてデバイスのルートディレクトリにある [SyncPlay (同期再生)] フォルダに格納されている必要があります。
 - プロキシサーバー設定を [Off (オフ)] にしてから、[Network Sync (ネットワークシンク)] を使用してください。
- [UPnP] : [UPnP] で使用される UDP ポート 1900 を開くかブロックします。
 - デフォルトは [On (オン)] です。これを [Off (オフ)] に設定すると、UDP ポート 1900 がブロックされ、UPnP 機能を使用できなくなります。
 - これを [Off (オフ)] に設定すると、同期モードの [Network (ネットワーク)] アイテムが非アクティブになります。
 - これを [Off (オフ)] に設定し、同期モードが [Network (ネットワーク)] に設定されている場合、[Sync Mode (同期モード)] は、[Off (オフ)] に切り替えられ、[Network (ネットワーク)] アイテムが非アクティブになります。
 - [UPnP] の値が変更された場合、[reboot (再起動)] しないと機能は適用されません。

Intelligent Auto (インテリジェントオート)

- 認識した解像度により、モニター画面のサイズ、位置、フェーズを自動的に調整します。この機能は、RGB 入力モードでのみ使用できます。

Studio Mode (スタジオモード)

- 低い色温度で画像を出力します。
- この機能は、[On (オン)] または [Off (オフ)] に設定できます。
- [On (オン)] にすると、画像の色温度が低下します。

HDMI IT Contents (HDMI IT コンテンツ)

- [HDMI IT Contents (HDMI IT コンテンツ)] 機能を設定します。
- [Disable (無効)] : [HDMI IT Contents (HDMI IT コンテンツ)] 機能を使用しません。
- [Enable (有効)] : [HDMI IT Contents (HDMI IT コンテンツ)] 機能を使用します。
- この機能は、HDMI 信号が入力されたときに、[HDMI] コンテンツ情報を基にして [Picture mode (映像モード)] を自動的に変更します。
- [HDMI IT Contents (HDMI IT コンテンツ)] 機能によって [Picture mode (映像モード)] が変更された場合でも、[Picture mode (映像モード)] を手動で変更できます。
- ユーザーによって設定される [Picture mode (映像モード)] よりも、[HDMI] 信号が変更された場合の方が優先順位が高いため、既存の [Picture mode (映像モード)] が変更されることがあります。

White Balance (ホワイトバランス)

- [R-Gain (R-ゲイン)]、[G-Gain (G-ゲイン)]、[B-Gain (B-ゲイン)]、[Backlight (バックライト)] の値を調整します。
- [Reset (リセット)] : ホワイトバランスの値をリセットします。
- [White Pattern (ホワイトパターン)] : 画面全体にホワイトパターンを表示します。(80IRE/100IRE)

Application (アプリケーション)

- ランチャーバーにアプリケーションを追加 / 削除します。
- Screen Share 項目のチェックを外してホームランチャーから Screen Share アプリを削除する場合は、削除後にシステムを再起動することをお勧めします。
- [Content Rotation (コンテンツの回転)] または [OSD Portrait Mode(OSD ポートレートモード)] が [On (オン)] に設定されている場合、[Group Manager (グループマネージャー)] アプリはランチャーから削除され [Group Manager (グループマネージャー)] の項目は無効になります。
- [Control Manager (コントロールマネージャー)] を [On (オン)] に設定すると、[Control Manager (コントロールマネージャー)] アプリがランチャーバーに追加されます。
- [Leveler Tool (レベラーツール)] を [On (オン)] に設定すると、[Leveler Tool (レベラーツール)] アプリがランチャーバーに追加されます。
- [SuperSign コンテンツ] が [オン] に設定されている場合、「SuperSign コンテンツ」アプリがランチャーバーに追加されます。
- [SI サーバー] が [オン] に設定されている場合、「SI サーバー」アプリがランチャーバーに追加されます。

Web Browser (Web ブラウザー)

- Chromium ブラウザーアプリを起動し、簡単な閲覧をサポートします。
- HTML ベースのアプリの基本的なテストを実行することができるこのブラウザーには、次の特徴があります。
 - 基本的な Web ページの閲覧をサポートしています。
 - 特定のサイトを適切に表示するための追加機能(サイトごとの UA 偽装など)はサポートしていません。
- このブラウザーには、次の制約があります。
 - マウスやリモコンの 5 キーでの閲覧はサポートしていますが、タッチパッドでの閲覧はサポートしていません。
 - PIP には対応していません。
 - テスト目的での使用を想定しているため、SI アプリの外部にある HTML コンテンツ (YouTube など) の信頼性は保証していません。

Status Message (ステータスメッセージ)

- Signage のステータスをユーザーの電子メールアドレスに送信する機能を設定します。
- 管理者は、ステータスメッセージを [オン] または [オフ] に設定できます。
- [Messaging Period (メッセージ送信間隔)] : メッセージを送信する際の時間間隔を設定します。 [失敗ステータス時]、または [毎週] のどちらかを選択できます。
- [Select Date (曜日選択)] : [メッセージ送信間隔] を [毎週] に設定した場合に有効となります。メッセージを送信する曜日を選択します。
- [Select Time (時間選択)] : [メッセージ送信間隔] を [毎週] に設定した場合に有効となります。メッセージを送信する時刻を選択します。
- [User E-mail Address (ユーザーの電子メールアドレス)] : 送信者の電子メールアドレスを入力します。
- [Type (タイプ)] : POP3 に固定。
- Sending Server (送信元サーバー) (SMTP) : POP3 送信メールサーバーアドレスとポート番号を入力します。
- [ID] : メールサーバーのユーザー ID を入力します。
- [Password (パスワード)] : メールサーバーのユーザーパスワードを入力します。
- [Receiver E-Mail Address (受信者のメールアドレス)] : ステータスメッセージの受信者の電子メールアドレスを入力します。
- 以下の項目のステータスが変更されたか異常になった場合、ステータスメッセージを送信できます。
 - 1. 温度 : モニターセットが危険な温度に達した場合はその温度が記録され、この情報を含む電子メールが送信されます。
 - 2. 温度センサーの有効性 : 接続された温度センサーがない場合、温度センサーの通信ステータスが不明な場合、あるいはチップのプロバイダーが提供した情報に異常がある場合に電子メールが送信されます。
 - 3. ネットワークステータス (無線 / 有線) : ネットワークの接続状態が変化すると、電子メールが送信されます。 ネットワークステータスの変更データは、最大で 50 回保存できます。電源をオフにすると、保存された値はリセットされます。
 - 4. RGB センサー : RGB センサーによる画面の確認が失敗すると、電子メールが送信されます。
 - 5. 信号確認なし : 信号の有無を確認します。 10 秒が経過しても信号が確認されない場合、電子メールが送信されます。
 - 6. ローカルコンテンツスケジューラ : Signage に登録された再生スケジュールの開始時刻と終了時刻の間のコンテンツを開始できなくなった場合、電子メールが送信されます。ただし、リモコンで終了操作が行われた場合、メールは送信されません。
 - 7. SuperSign スケジューラ : SuperSign に配信された再生スケジュールの開始時刻と終了時刻の間のコンテンツを開始できなくなった場合、電子メールが送信されます。ただし、リモコンで終了操作が行われた場合、メールは送信されません。
 - モデルによっては、上記の機能をサポートしていない場合があります。
- SMTP Port 25、587 のみがサポートされている場合、Naver はサポートされません。

SIMPLINK Setup (SIMPLINK 設定)

- [SIMPLINK Setup (SIMPLINK 設定)] が [On (する)] に設定されている場合、SIMPLINK は LG Signage から提供されます。
- [Device ID (デバイス ID)]: CEC 配線を経由して接続されたデバイスに ID を設定します。値は「All (すべて)」から「E」の範囲で選択できます。
- [StandBy (スタンバイ)]: OpStandBy (0x0c) コマンドを送受信するためのシナリオを設定します。シナリオの詳細は以下のとおりです。

	Send (送信)	Receive (受信)
Send Only (送信のみ)	O	X
Receive Only (受信のみ)	X	O
All (すべて)	O	O

Local Dimming (局所輝度制御)

- [Local Dimming (局所輝度制御)] 機能を使用するかを設定します。
- このオプションは、[On (オン)] または [Off (オフ)] に設定できます。
- [On (オン)] に設定すると、[Local Dimming (局所輝度制御)] は有効になります。
- [Off (オフ)] に設定すると、[Local Dimming (局所輝度制御)] は無効になります。
- [Local Dimming (局所輝度制御)] をサポートしているモデルで、[Local Dimming (局所輝度制御)] が [Off (オフ)] に設定されていると、画面の明るさと暗さが正しく表示されない可能性があります。

Holiday Schedule (休日のスケジュール)

- 製品を使用しない休日を設定します。
- 休日は、スケジュールに従って指定されます。
- このオプションは、[On (オン)]/[Off (オフ)] に設定できます。
- 現在の時刻が設定されていない場合、[Holiday Schedule (休日のスケジュール)] は無効になります。
- 最大 7 つのスケジュールを追加できます。
- 重複するスケジュールは追加できません。
- [休日予約] で設定されている期間、オンタイマーは動作しません。

Easy Brightness Control (かんたん明るさコントロール)

- 設定したスケジュールに従ってバックライトを調整します。
- このオプションは、[On (オン)]/[Off (オフ)] に設定できます。
- 現在時刻が設定されていない場合、[Easy Brightness Control (かんたん明るさコントロール)] は無効になります。
- 最大 6 つのスケジュールを追加できます。スケジュールは時刻で昇順に並べられます。
- リストから選択して [OK] ボタンを押すことで、スケジュールを編集できます。

ヒント

- [管理者] > [初期設定にリセット] または [管理者] > [工場初期化] をクリックして、デフォルト設定に戻します。

アナログ Signage BLU 設定

- この機能を設定して、アナログ Signage BLU(Back Light Unit) を制御します。
- オン/オフ時刻の設定：BLU のスケジュールを調整します。
- BLU の手動オン/オフ：オンまたはオフ設定を使用して、スケジュール機能に関係なく、BLU をオンまたはオフに設定します。

Crestron (クレストロン)

- この機能を使用すると、Crestron が提供するアプリケーションと同期することができます。
- [Server (サーバー)]：このメニューは、サーバー (Crestron が提供する機器) とのネットワーク接続を設定します。
- [Port (ポート)]：このメニューは、サーバーとのネットワーク接続用のポートを設定します。デフォルトのポート番号は 41794 です。
- [IP ID]：このメニューは、アプリケーションとの同期用の固有の ID を設定します。

Enterprise Settings (エンタープライズ設定)

- 対応する企業設定を適用するには、会社のアカウントコードを入力します。
- コードを入力すると、モニターセットがリセットされるため、対応する企業設定が適用されます。
- この機能は、コードがすでに入力されている場合は有効になりません。

No Signal Image (ノーシグナルイメージ)

- 映像信号がないときに表示される画像を変更します。この機能をオフにすると、信号なし画像が表示されます。

Signage 365 Care サ (イネージ 365 ケア)

- サイネージ 365 ケア (障害診断) をインストールして、障害の診断と予測を行うことができます。
- [Install (インストール)]: サイネージ 365 ケアをインストールします。
- 1) [ENTER ACCOUNT NUMBER (アカウント番号の入力)]: サイネージ 365 ケアソリューションをインストールするために、6桁のアカウント番号を入力します。
 - アカウント番号: サイネージ 365 ケアソリューションを登録するときに割り当てられる番号です。アカウント番号を入力すると、番号に対応するアカウント名が取得されます。
- 2) [CONFIRM ACCOUNT NUMBER (アカウント番号の確認)]: アカウント番号とアカウント番号に対応するアカウント名を表示し、アカウント番号を確認します。
 - アカウント番号が登録されている場合、アカウント番号に対応するアカウント名が表示され、サイネージ 365 ケアソリューションのインストールを続行できます。
 - アカウント番号が登録されていない場合、アカウント名として「不明」と表示され、ソリューションのインストールを続行できません。
- [Enable/Disable (有効化/無効化)]: サイネージ 365 ケアソリューションを有効/無効に設定します。
- [Account (アカウント)]: ユーザーの現在接続しているアカウント番号とアカウント名を表示します。
- [Version (バージョン)]: サイネージ 365 ケアのバージョンを表示します。
- [Check for Update (最新版を確認)]: サーバーで使用可能な更新を確認します。
- [Update (アップデート)]: サイネージ 365 ケアを最新バージョンに更新します。
- [Server Status (サーバーの状態)]: セットとサーバーの間の接続状態を表示します。
 - [Connected (接続されました)]: セットとサーバーが接続されているときに表示されます。
 - [Not Connected (接続されていません)]: セットとサーバーが接続されていないときに表示されます。
 - [Waiting for Approval (承認待ち)]: サーバーが承認待ちであるときに表示されます。
 - [Rejected (却下)]: サーバーが接続を拒否したときに表示されます。
- [Reset (初期化)]: サイネージ 365 ケアソリューションのインストールを削除します。

Quiet mode (Fan OFF) (静寂モード (ファンオフ))

- これはファンノイズを低減する機能です。
- [On (オン)]: 輝度を低減し、ファンをオフにして、低ノイズモードで動作します。
- [Off (オフ)]: 輝度を元の状態に戻し、内部温度に応じて、ファンは動作します。

Factory Reset (工場出荷状態へリセット)

- 製品を工場出荷時の設定にリセットできます。

【Content Rotation（コンテンツの回転）】の使用方法

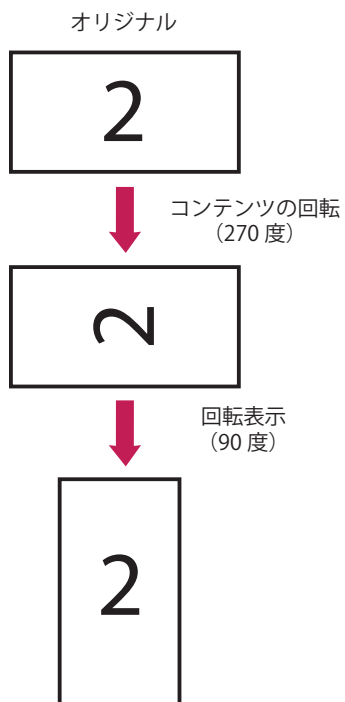
[縦置き設定]

【Content Rotation（コンテンツの回転）】を使用すると、画像を縦置き画像に変えることができます。

90度回転した画像を表示する場合、【コンテンツの回転】を270に設定します。

270度回転した画像を表示する場合、【コンテンツの回転】を90に設定します。

例) 90度回転した画像を表示する場合：



[ビデオウォール設定]

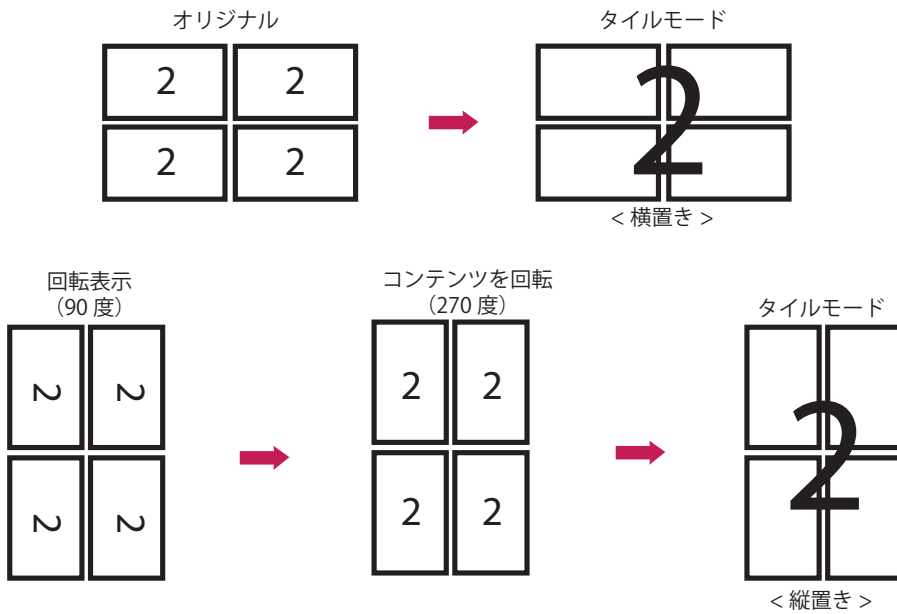
[Content Rotation (コンテンツの回転)]を使用すると、横置きおよび縦置きビデオウォールを作成できます。

例：タイルモード 2x2

* 横置きビデオウォール

* 縦置きビデオウォール

- [Content Rotation (コンテンツの回転)]を [90] に設定します。



USB Cloning (USB クローニング)

モニターの設定を他のモニターの設定にコピーできます。

Send to USB (USB にエクスポート)

- 現在の設定をファイル形式で USB デバイスに保存できます。
- ファイル名を選択して [OK] を押せば完了です。
- 保存されていないアイテム：現在の時間、電源オンディレイ、Set ID、[ネットワーク] 下のアイテム、ホワイトバランス、タイル ID、現在の入力信号 ([入力])、[サインページセットアップ] メニュー - マスター / スレープモード、時刻同期、[ISM 方式] メニューのすべてのメニュー (モード、繰り返し、待機、および期間を除く)、[写真と動画] および [音楽] のアプリメニュー (映像、音声など)

Receive from USB (USB からインポート)

- USB デバイスから構成ファイルをインポートして、現在使用しているモニターの設定値を変更することができます。
- この製品と異なるモデルの設定ファイルを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- インポートが完了すると、5 秒後に電源が再起動します。

Logo Image Download (ロゴイメージのダウンロード)

- ブートイメージをダウンロードして適用することができます。
- 適用するイメージは、USB デバイスの最上位レベルの「LG_MONITOR」フォルダに保存されている必要があります。
- ダウンロードが完了するとモニターが再起動し、ブートイメージが適用されます。



注意

- クローニング機能を使用する場合は、FAT32 ファイルシステムを使用してフォーマットされた USB ストレージデバイスを使用してください。他のファイルシステムでフォーマットされている場合、正常に作動しない場合があります。

Password Change (パスワード変更)

[Installation menu (インストールメニュー)] で、パスワードを変更できます。セキュリティのため、パスワードを変更することができます。新しい 4 桁のパスワードを入力します。確認のため、[Confirm Password (パスワードの確認)] に同じパスワードをもう一度入力します。

Fail Over (フェイルオーバー)

優先順位の最も高い入力元が選択されます。

Off (オフ)

- 自動フェイルオーバー機能が無効になります。

Auto (自動)

- 入力元が指定した順序に変更されます。複数の入力元が検出された場合、優先順位の最も高い入力元が選択されます。
- 優先順位
例 1) 1. HDMI、2. DVI-D、3. DisplayPort、4. OPS、5. RGB、6. 内蔵メモリー
例 2) 1. HDMI1、2. HDMI2、3. OPS/HDMI3/DVI-D または OPS/DVI-D、4. DP、5. 内蔵メモリー

Manual (マニュアル)

- 入力元が指定した順序に変更されます。複数の入力元が検出された場合、優先順位の最も高い入力元が選択されます。
- 優先順位 1 ～ 6 まで設定できます。

ヒント

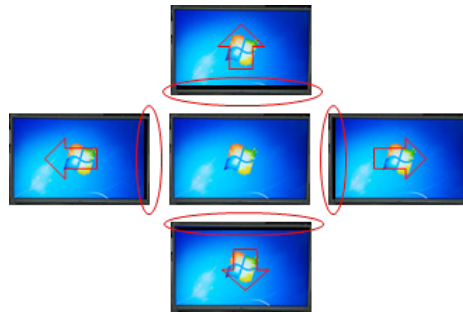
- フェイルオーバーが動作して、入力が内蔵メモリー、USB、または SD カードに切り替わった場合、そのいずれかの最上位のディレクトリにある動画、または静止画が再生されます。
- 同じフォルダーにビデオファイルと画像ファイルの両方がある場合、ビデオファイルのみが再生されます。
- フェイルオーバーにより、[ノーマル] フォルダーまたは [フェイルオーバー] (FAIL_OVER) フォルダーに保存されている SuperSign コンテンツが自動的に再生されます。
- 優先順位数はモデルによって異なります。

ISM Method (ISM モード)

静止画が画面に長時間表示されていると、残像が発生することがあります。ISM モードは、残像を防止する機能です。

Mode (モード)

- お好みの残像防止モードを選択します。
- [ノーマル]: ISM モードを無効にします。
- [ホワイトウォッシュ]: 残像をなくすためにホワイトパターンを表示します。
- [カラーウォッシュ]: 残像をなくすためにホワイトパターンとカラーパターンを交互に表示します。
- [User Image (ユーザー画像)]: USB を使用して、指定の画像を表示します。
- [User Video (ユーザー動画)]: 視聴したい動画を再生します。
- [Inversion (反転)]: 残像をなくすために画面の色を反転します。(現在の入力元が信号なしになると、このオプションは無効になります)。
- [Washing Bar (ウォッシングバー)]: 画像が円滑に動くように、画面上にバーを表示します。対象の画像をダウンロードし、これをバーで表示できます。
- [Orbiter (移動)]: 画面に残像が残らないように、1 ステップで移動する場合は、4 ピクセルごとに移動します。また、最大で 7 ステップまで動作します。画面は、左、右、上、下の順で移動します。この場合、画面の外側の一部が隠れることがあります(入力が「信号なし」の場合、非アクティブになります)。



Repeat (繰り返し)

- [Off, just 1 time (オフ、一度のみ)]: 対象のモードを選択して DONE を押すと、ISM が即座に実行します。
- [On (オン)]: 画面が一定の待機時間で静止すると、指定した期間のみ ISM が実行されます。
- [On (オン)] (動作の検知あり): [移動] モードにのみ適応されます。画面が一定の待機時間で静止すると、指定した期間のみ ISM が実行されます。
- [On (オン)] (動作の検知なし): [移動] モードにのみ適応されます。[完了] ボタンをクリックした直後に ISM が起動し、動作を続けます。
- [Scheduling (予約)]: 日付、開始時間、終了時間の設定に従って、ISM 機能を実行します。

Wait (待機時間)

- 1 ~ 24 時間の範囲で待機時間を設定できます。
- このオプションは、[Repeat (繰り返し)] を [On (オン)] に設定した場合のみ使用できます。
- 画像が一定期間静止すると、ISM が始動します。

Duration (再生時間)

- 1 ~ 10 分 / 20 分 / 30 分 / 60 分 / 90 分 / 120 分 / 180 分 / 240 分から選択できます。
- このオプションは、[Repeat (繰り返し)] を [On (オン)] に設定した場合のみ使用できます。
- 指定した期間のみ ISM が実行されます。

Repeat Day (繰り返し日)

- 日付を設定できます。
- このオプションは、[繰り返し] を [予約] に設定した場合にのみ使用できます。

Start Time (開始時刻)

- 開始時刻を設定します。
- このオプションは、[繰り返し] を [予約] に設定した場合にのみ使用できます。
- 開始時刻と終了時刻に同じ時間を設定することはできません。

End Time (終了時刻)

- 終了時刻を設定します。
- このオプションは、[繰り返し] を [予約] に設定した場合にのみ使用できます。
- 開始時刻と終了時刻に同じ時間を設定することはできません。

Action Cycle (アクションサイクル)

- 1～10分/20分/30分/60分/90分/120分/180分/240分から選択できます。
- このオプションは、[Inversion (反転)]または[Orbiter (移動)]に設定した場合のみ使用できます。
- [Orbiter (移動)]：指定した周期で画面の位置を移動します。
- [Inversion (反転)]：指定した周期で画面の色を反転します。

Bar Image (バーの画像)

- [Off (オフ)]：固定された解像度 (300 x 1080) でバーを表示して、このバーを移動します。
- [On (オン)]：ユーザーがダウンロードした画像を表示して移動します。画像の高さは 1080 で固定され、幅はダウンロード時と同じ値になります。ただし、幅が 300 未満の場合は 300 に固定されます。
- このオプションは、[Washing Bar (ウォッシングバー)]を設定した場合のみ使用できます。
- 1つの画像をダウンロードした場合、バーが移動してこの画像が単独で表示されます。
- 複数の画像をダウンロードした場合、最大で4つの画像が一定周期で順番に表示されます。

Bar Color (バーの色)

- 赤、緑、青、白、黒、グレーの6色から選択できます。
- この機能は、[Bar Image (バーの画像)]が[Off(オフ)]に設定されている場合にのみ使用できます。
- このオプションは、[Washing Bar (ウォッシングバー)]を設定した場合のみ使用できます。

Transparency (透明度)

- [Off (オフ)]：バーを不透明にして表示します。
- [On (オン)]：バーを半透明にして表示します。(透明度：50%)
- このオプションは、[Washing Bar (ウォッシングバー)]を設定した場合のみ使用できます。

Direction (方向)

- [Left -> Right (左->右)]：バーが左から右に動きます。
- [Right -> Left (右->左)]：バーが右から左に動きます。
- このオプションは、[Washing Bar (ウォッシングバー)]を設定した場合のみ使用できます。

Bar Image Download (バーの画像をダウンロード)

- 画像ファイルは、お使いの USB ドライブで「ISM」と名付けられたフォルダーの配下にダウンロードする必要があります。
- 新しい画像ファイルをダウンロードする前に、必ず内蔵メモリーに保存されている古い画像を削除してください。
- サポートされているファイルタイプ：BMP、JPG、JPEG、PNG、GIF
- 画像は最大 4 つまでダウンロードできます。（解像度：最大 1920 x 1080）
- 画像がないか、既存の画像が削除されている場合、デフォルトの画像が使用されます（デフォルトの画像は白いバーの画像です）。
- このオプションは、[Bar Image (バーの画像)] が [On (オン)] の場合のみ使用できます。

User Image Download (ユーザー画像のダウンロード)

- 画像ファイルは、お使いの USB ドライブで「ISM」と名付けられたフォルダーの配下にダウンロードする必要があります。
- 新しい画像ファイルをダウンロードする前に、必ず内蔵メモリーに保存されている古い画像を削除してください。
- サポートされているファイルタイプ：BMP、JPG、JPEG、PNG、GIF
- 画像は最大 4 つまでダウンロードできます。（解像度：最大 1920 x 1080）
- 画像がないか、既存の画像が削除されている場合、デフォルトの画像が使用されます（デフォルトの画像は白い背景の画像です）。
- このオプションは、[User Image (ユーザー画像)] を設定した場合のみ使用できます。

User Video Download (ユーザー動画のダウンロード)

- 動画ファイルは、お使いの USB ドライブで「ISM」と名付けられたフォルダーの配下にダウンロードする必要があります。
- 新しい動画ファイルをダウンロードする前に、必ず内蔵メモリーに保存されている古いコンテンツを削除してください。
- サポートされているファイルタイプ：MP4、AVI、FLV、MKV、MPEG、TS
- 動画は 1 つまでダウンロードできます。
- 動画がないか、既存の動画が削除されている場合、デフォルトの動画が使用されます。（デフォルトの動画は白い背景の画像です）。
- このオプションは、[User Video (ユーザー動画)] を設定した場合のみ使用できます。
- 音声はサポートされていません。

* ダウンロードされたバーの画像 / ユーザー画像 / ユーザー動画のリセットまたは削除方法

- リセットするには、[Installation (インストール)] > [Signage Setup (Signage のセットアップ)] > [Factory Reset (工場出荷状態へリセット)] の順に進みます。
- 削除するには、[マイメディアのデバイス] 配下の [内蔵メモリー] に進み、ダウンロードした対象コンテンツを削除します。

Server (サーバー)

Set Automatically (自動設定)

- モニターセットは、SuperSign サーバーから検索できるように自動的に設定されます。

Server IP Type (サーバーの IP タイプ)

- IPv4 または IPv6 を選択します。

Server IP (サーバー IP)

- SuperSign サーバーの IP アドレスを設定できます。

Server Status (サーバーのステータス)

- [Server Status (サーバーのステータス)] に、モニターと SuperSign サーバー間の接続のステータスが表示されます。
- [Not Connected (接続されていません)]: モニターが SuperSign サーバーに接続されていない状態です。
- [Waiting for Approval (承認待機中)]: モニターが SuperSign サーバーに接続されているが、まだ承認されていない状態です。
- [Rejected (承認拒否)]: モニターが SuperSign サーバーに接続されているが、拒否された状態です。
- [Connected (接続済み)]: モニターが SuperSign サーバーに接続され、承認されている状態です。

Port Number (ポート番号)

- SuperSign サーバーのポートを設定します (SuperSign Premium 1.0 以降でサポートされています)。

Secured Connection (保護された接続)

- SuperSign サーバーへの接続時にセキュリティープロトコルを使用するかを選択できます (SuperSign Premium 1.0 以降でサポートされています)。

Control Server IP Type (制御サーバーの IP タイプ)

- IPv4 または IPv6 を選択します。

Control Server IP (制御サーバーの IP)

- このメニューでは、SuperSign 制御サーバーの IP を設定します。

Control Server Port (制御サーバーのポート)

- このメニューでは、SuperSign 制御サーバーのポートを設定します。

Control Server Status (制御サーバーの状態)

- SuperSign 制御サーバーの接続状態が表示されます。
- 未接続: SuperSign 接続サーバーに接続されていません。
- 承認待ち: SuperSign 接続サーバーに接続されていますが、承認されていません。
- 接続: SuperSign 接続サーバーに接続し、承認されています。

Lock Mode (ロックモード)

USB

- USB デバイスが使用されないようにできます。

OSD

- OSD を表示しないようにできます。

Wi-Fi

- Wi-Fi 機能をオンまたはオフにします。

Reset to Initial Settings (初期設定にリセット)

- 初期設定が使用されないようにできます。

IR Operation (IR の操作)

- [IR Operation (IR の操作)] を [Normal (標準)] に設定すると、リモコンを使用できます。
- [IR Operation (IR の操作)] を [Power Key Only (電源キーのみ)] に設定すると、電源キーのみ使用できます。
- [IR Operation (IR の操作)] を [Block All (すべてブロック)] に設定すると、リモコンが使用できなくなります。(電源のオン/オフは使用できます。)

Local Key Operation (ローカルキーの操作)

- [Local Key Operation (ローカルキーの操作)] を [Normal (標準)] に設定すると、ローカルキーを使用できます。
- [Local Key Operation (ローカルキーの操作)] が [Power Key Only (電源キーのみ)] に設定されていると、[Power Key (電源キー)] のみ使用できます。(ジョイスティックを [Power Key (電源キー)] として機能させるには、[Local Key (ローカルキー)] を長押しします。)
- [Local Key Operation (ローカルキーの操作)] を [Block All (すべてブロック)] に設定すると、ローカルキーが使用できなくなります。(電源のオン/オフは使用できます。)

